

平成 18 年度 事業計画書

社団法人 日本補綴歯科学会は、高い公益性をもち、社会のニーズに応えるため、歯科医療全般の向上を目指し、専門分野である歯科補綴学の学理及びその応用についての研究を行うとともに、国内外の関連学会との連携協力を図り、医療人としての資質を高めることにより、国民の健康福祉に貢献することとして、以下の事業を実施する。

1. 学術大会、講演会の開催

平成 18 年度から、学術大会を年 1 回の開催とし、地域に密着する支部の活動を拡充し、地元会員や社会に対する各種事業を推進する。

(1) 学術大会

日 時	平成 18 年 7 月 8～9 日
場 所	札幌市（札幌コンベンションセンター）

(2) 支部学術大会

全国 9 支部で開催

(3) 市民フォーラム等公開講座

全国 9 支部やその他で開催予定

2. 学会誌の発行

国際的な評価を確立するために、和文誌の発行を年 5 回から年 4 回にするとともに、英文誌（PRP）の発行回数を年 1 回から年 4 回に増やす。

3. 専門医等の認定

(1) 厚生労働省への申請及び認可のための作業

(2) 専門医、指導医、認定研修機関の新規認定作業及び更新作業

4. 研究の奨励及び表彰

(1) 研究の奨励

- ・平成 14 年度に定めた 10 領域の研究課題について引き続き推進を奨励する。
- ・学会主導型の臨床疫学研究を推進する。

(2) 表彰

学会論文賞、特定推進研究優秀論文賞、中堅優秀論文賞、奨励論文賞、課題口演優秀賞、特別功労賞について表彰

5. 関連学術団体との連絡及び協力

関連学会の学術大会への参加

6. 国際交流事業

- (1) 海外の補綴（関連）学会との交流
 - (ア) 第3回大韓歯科補綴学会（Korean Academy of Prosthodontics ; KAP）との共催学術大会（2006年 ソウル）
 - (イ) 第2回 Greater New York Academy of Prosthodontics (GNYAP) との共催学術大会（2007年 日本）の準備
 - (ウ) 第5回アジア補綴歯科学会（Asian Academy of Prosthodontics; AAP）学術大会（2007年 日本）の準備
 - (エ) アジア諸国の学会との交流
- (2) 国際フォーラムの開催

7. 歯科医療の向上のための事業

- (1) 生涯学習公開セミナーの開催
全国9支部において開催予定
- (2) 補綴歯科医療の質の向上を目指したガイドライン（診療指針）の策定
- (3) 社会保険改訂への積極的な提言
- (4) 臨床研修の義務化に伴う、実施状況を調査、検討
- (5) 学部卒業時における補綴歯科医療の実技レベルの調査、検討

8. 広報事業

- (1) ニュースレターの発行（年4～5回予定）
- (2) ホームページの一層の充実
- (3) 「日本補綴歯科学会」の国民への周知徹底のための諸施策を実施

9. その他

- (1) 会議の開催
理事会を年3回、総会を年2回、委員長会を年6回開催する。
各委員会は年1～5回程度開催し、学会活動の活性化をはかる。
- (2) 賛助会員
平成18年度は46社を予定